

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

本吉放牧場 「パークゴルフでまちづくり」事業

2 地域再生計画の作成主体の名称

宮城県気仙沼市

3 地域再生計画の区域

宮城県気仙沼市の全域

4 地域再生計画の目標

4-1 地域の現状

本市は、宮城県北東端に位置し、面積は、332km²で、世界三大漁場である三陸沖を控えた有数の港町であり、古くから水産業や水産加工業が主要な産業となっている。

また沿岸部から山間部にかけて、稲作や園芸、畜産などの農業が営まれている。

リアス式の海岸線や大島、つつじの名所として名高い徳仙丈山や田東山などの観光資源を有しており、平成30年の観光客入込数は1,501,100人である。

平成23年3月の東日本大震災においては沿岸部を中心に大きな被害があったが、震災から8年がたち、復旧・復興事業の推進により、住まいと産業の再建が図られてきた。

復興道路として整備が進められた三陸沿岸道路は、市内でも部分開通となり、離島大島への架橋事業も完了、高度衛生管理型の新魚市場、東日本大震災遺構・伝承館がオープンした他、今後も復興完遂に向け各種事業が進められる。

しかし、市の人口は2010年国勢調査の73,489人に対し、2015年は64,988人と11%ほど減少した。

国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、図1のとおり、気仙沼市の人口は2040年には42,656人となり、2010年（国勢調査）との比較で3万人以上、42.0%の減少になると予測されている。

図1 気仙沼市の人口推移と将来推計（気仙沼市まち・ひと・しごと創生「人口ビジョン」 「総合戦略」）



人口減少は、消費支出の減少により経済が縮小するなど、地域に影響を及ぼすことから、人口の増加対策を進めるとともに、交流人口の呼び込みを図ることが必要であるが、市内への観光客入込数は2010年の2,540千人に対し、2018年は1,501千人で59%にとどまっている。

これは、市内において観光・物産施設の復旧が進み、一定の来客があるが、震災前に賑わいをみせていた海水浴場の復旧が一部にとどまり、みなとまつりなど大きなイベントも会場周辺の環境が整わない中で開催されているため、集客が震災前の水準に戻っていないものと考えられる。

4-2 地域の課題

本市の状況は4-1に記載のとおりであるが、人口減少が、市の将来に向けては大きな課題である。年齢3区分別の人口の推移をみると、年少人口と生産年齢人口の割合が県平均より低く、老年人口割合は県平均を大幅に上回っている。

出生数は1970年代には1,200人を超えていたが、2018年度年は300人で、

児童生徒数の減少のため、地域のシンボルであった小中学校の統合が進み、地域住民の拠り所が消滅している。

一方で高齢化率は37.4%であり、高齢の独居又は夫婦のみの世帯が増加している。

人口減少に対応すべく、市では「人口減少対策本部」を設置し、結婚・出産・子育てと移住・定住促進を柱に、効果的な施策を講じることとしているが、効果を上げるまでには一定の期間を要すると考えられ、まずは自然や豊かな食文化といった気仙沼の特色を活かして交流事業を推進し、交流人口の増加を図っていく方策が必要である。

本計画の実施場所である気仙沼市本吉放牧場（通称「モーランド本吉」）は、乳牛の預託育成を行うとともに、ふれあい牧場としての施設整備を進め、現在年間3万人を超える来場者があるが、これまでは小動物とのふれあいや遊具利用、乳製品の手作り体験など子供や家族連れの対応がメインであった。

気仙沼の観光や体験メニューは、地域柄、海に因んだものが多い。

そこに、本吉放牧場の「農」や「山村」といったキーワードをこれまでに以上に強く押し出し、多彩な体験メニューでツアーを組むことができれば、来訪者の増加や滞在期間を長くすることが期待でき、交流人口の増が図られる。

このことから、本吉放牧場においても、より幅広く集客でき、かつリピーターとなっていただけのような方策が必要となっている。

4-3 目標

4-2に記載した課題に対応し、一過性の誘客にとどまらないものとするためには、市民自らが行動し、継続的な交流の機会を創出していくことが必要である。

その一つとして、本吉放牧場にパークゴルフ場を設置し、スポーツ活動を通して市外から誘客し大きな交流機会の創出を図ることとする。

近年盛んになっているパークゴルフは、気軽に、かつ性別や年齢にとらわれないで楽しむことができ、コミュニケーションをとりながらプレ

一することで、プレーヤー同士の交流が図られる。

パークゴルフ事業の推進母体として、気仙沼市本吉地域のまちづくり団体である「本吉夢プロジェクト委員会」と、本吉放牧場の指定管理者の「農事組合法人モーランド」及び「本吉パークゴルフ愛好会」のメンバーによる「モーランドパークゴルフ場運営委員会」が結成されており、主体的に運営を担うこととしている。本事業を通し、市内外の地域住民の交流を活性化させ、交流人口の増加につなげるものである。

また、震災以降大きく落ち込んでいる市内への観光客入込数の増加に向けて、三陸道の供用、海水浴場の再開などハード整備に加え、気仙沼ならではの魅力あるコンテンツの磨き上げにより一層の誘客促進を図る。

事業の名称	本吉放牧場 「パークゴルフでまちづくり」事業		基準年月
	K P I	観光客入込数	
申請時（2018年）	1,501千人	0人	2018年12月末
2019年	1,607千人	0人	2019年12月末
2020年	1,743千人	4,500人	2020年12月末
2021年	1,834千人	5,000人	2021年12月末
2022年	1,881千人	5,000人	2022年12月末
2023年	1,941千人	5,000人	2023年12月末

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2の③及び5-3-2のとおり

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

本吉放牧場 「パークゴルフでまちづくり」事業

② 事業区分

観光業の振興

③ 事業の内容

【事業の概要】

本吉放牧場は観光牧場として施設の活用と各種体験メニューの実施、「モーランドまつり」などのイベント開催により多くの来場者を迎えている。

経営にあたっては、第三者の意見を取り入れ様々な工夫と改善を行っており、一昨年以降「モーランド」のロゴデザインの変更や、ハンドタオルなどオリジナルグッズの販売、新製品「砂糖不使用ヨーグルト」の開発などを行ってきた。

また、体験メニューとして新たに取り入れた、ウサギにリードをつけ散歩する「うさんぽ」は子供たちに大人気となっている。

活性化に向けた取り組みや事業内容の見直しは、今後も随時行っていくこととしているが、その一つとして、本吉放牧場内へのパークゴルフ場設置により、来場者の一層の増加を図る。

2020年春に予定するパークゴルフ場のオープンにあたっては、モーランドのホームページに掲載するほか、地方紙への記事掲載などにより、広く広報を行う計画である。

【年度ごとの事業の内容】

(2019年度)

本吉放牧場の土地の一部を「モーランドパークゴルフ場運営委員会」が市から借り受け、パークゴルフ場を整備する。

気仙沼市はパークゴルフ場整備に係る事業に対し補助金を交付する。

補助金交付時期	2019年10月
補助金交付対象団体	モーランドパークゴルフ場運営委員会
補助金額	3,000,000円（補助率100%）

④ 地方版総合戦略における位置付け

気仙沼市まち・ひと・しごと再生「人口ビジョン」「総合戦略」において、政策目標として「(Ⅱ)人と自然が共生するまちをつくり、気仙沼ファンを育て、新たな人の流れをつくる」と謳い、交流人口の拡大を図るための施策を実施していくこととしており、本事業はまさにこの趣旨に沿ったものと考えられる。

⑤ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

事業の名称	本吉放牧場 「パークゴルフでまちづくり」事業		基準年月
KPI	観光客入込数	パークゴルフ参加人数	
申請時	1,501千人	0人	2018年12月末
2019年	1,607千人	0人	2019年12月末

⑥ 事業費

(単位：千円)

事業費の額	
2019年度	計
3,000	3,000

⑦ 申請時の寄付の見込み

(単位：千円)

寄附法人名	寄附の見込み額	
	2019年度	計
合同会社気仙沼漆原	2,000	2,000
合同会社気仙沼泉沢	1,000	1,000

計	3,000	3,000
---	-------	-------

⑧ 事業の評価の方法（P D C Aサイクル）

【評価の手法】

事業のK P Iである気仙沼市の観光客入込数と当該箇所におけるパークゴルフ参加者数について実績値を公表する。

また、外部委員で構成する「けせんぬま創生戦略会議」において事業の結果を検証し、以後の事業展開に資する。

【評価の時期及び内容】

毎年度、外部委員で構成する「けせんぬま創生戦略会議」で効果検証を行う。

【公表の方法】

目標の達成状況については、効果検証後速やかに気仙沼市公式WEBサイト上で公表する。

⑨ 事業実施期間

2019年9月から2020年3月まで

5—3 その他の事業

5—3—1 地域再生基本方針に基づく支援措置

該当なし

5—3—2 支援措置によらない独自の取組

（1）本吉放牧場指定管理

① 事業概要

気仙沼市本吉放牧場について、「農事組合法人モーランド」を指定管理者として管理運営する。

② 実施主体

宮城県気仙沼市

③ 事業期間

2019年度～2023年度

6 計画期間

地域再生計画の認定の日から2024年3月31日まで

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

7-1 目標の達成状況に係る評価の手法

5-2の⑧の【評価の手法】に同じ。

7-2 目標の達成状況に係る評価の時期及び評価を行う内容

4-3の目標について、5-2の⑧の【評価の時期及び内容】に同じ

。

7-3 目標の達成状況に係る評価の公表の手法

5-2の⑧の【公表の方法】に同じ。